

カトリック八尾教会ニュース



2024年12月

Tháng mười hai

【今月の予定】

ミサの時間

1日(日) 待降節第1主日	7:00 10:00
8日(日) 待降節第2主日	7:00 10:00
9日(月・祭) 無原罪の聖マリア	-----
14日(土) 信仰講座	16:00
15日(日) 待降節第3主日	7:00 10:00
ベトナム語のミサ	15:00
21日(土) かわちブロック子ども会	13:00
22日(日) 待降節第4主日	7:00 10:00
24日(火・祭) 主の降誕(夜半)	19:00
25日(水・祭) 主の降誕(日中)	10:00
29日(日) 聖家族	7:00 10:00

てんれいいんかい
典礼委員会(ミサ後)
とうきょうかいどうめい きねん び
＜当教会堂名の記念日＞



たいこうせつもくそうかい
『待降節黙想会』(9:00～)

こどものかい
『子どものクリスマス会』



けっこんきねん しゅくふく
『結婚記念の祝福』

平日のミサ

木曜日 : 10時 12日、19日

＜お休み：5日、26日＞

待降節黙想会の案内

【日時】 12月 15日(日) 9:00～

【指導司祭】 下瀬神父様 (吹田教会)

【スケジュール】

9:00	黙想指導
10:00	ミサ
ミサ後	ゆるしの秘跡



てんれいいんかい
(典礼委員会)

ブロック子どものクリスマス会

(日時) 12月21日(土) 13時～16時

(場所) やおきょうかい

(内容) クイズ、こうさく、えほん、おやつ、うた、おいのり

(しめきり) 12月15日(日)

*リーダーまでもうしこんでくださいね★★★

*たくさんのおともだち、きてくださいね♥♥♥ (子ども会)



■フリーマーケットがおこなわれました！ 11月10日(日)11時～13時

あきばなかひとたのこうりゅうば
秋晴れ中、たくさんの人の楽しい交流の場となりました。

ぎょうじいんかい
(行事委員会)

しゅってん うりあげきん
出店いただいたグループより、売上金、
166,037円のご寄付をいただきました。
ご協力ありがとうございました。
しゅうえき きょうかいせいしょうねんかつどうひ ひさいちとう
収益は教会青少年活動費と被災地等
の支援金に充てさせていただきます。



おも 思うのだ

チェ ジュヨンしんぶ 崔 周永神父

さいきん しょうきょうく じむきょくちやうめいぎ てがみ だ せいしょ しと きょうかい てがみ に
最近、ある小教区に事務局長名義の手紙を出した。聖書のパウロ使徒のいろいろな教会への手紙と似
たような形で、挨拶と励ましの後、本題に入っては問題について触れ、最後に神様からの祝福を願うとい
う内容で、時代の差はあれ、教会で起こっている問題はさほど変わっていないのだと感じた。

わたし にんげん じんかく がいねん わ たにん ちが こゆう も
私たち人間は、人格という概念でよく分かるように、他人と違う固有のアイデンティティを持っている。
<<アイデンティティは「自分が自分として同じものであること」を自分で認識することを指します>>とあるが、
つまり、昨日の自分と今日の自分が同一人であると感じる感覚で、落ち込んでいた自分と 燥いでいた自分とが
同じ人なのだと分かる認識のことだ。この営みに、厄介なことに、いや、至極便利とも言えるだろう、いい加減
さが介入する。自分という実体を維持していくために、人間は自分に便利なように物事の認識を歪めること
が出来るとし、他人には厳しい物差しで測り、自分には幾らもの言い訳を沢山備えているわけだ。その時には気
が乗らなかった。いやはや、ちょっと調子が悪くてね。そして、最後に、分からなかったよ！とか。常に思うの
だ。

にんげん た ことば ものた じっせん ちんもく だいじ
人間に足りないのは言葉ではないと。いつも、物足りないのは実践なのだ。ここで、沈黙の大事さが、そ
の重みが改めて感じ取れる。どれほど、話し上手な人であっても、ずっと喋り続けていては、聴く側はうんざ
りしてしまう。話が伝わるためには休止や停止が必要となる。コンマがあってからこそ、聞き手に考える余地
を与え得るし、話と話との間(ま)加減こそが話に耳を傾けるように誘うのだ。

にんげん がんこ そんざい ふくいんしょ か とお き みみ ひと ことば たね はたけ ねづ
人間は頑固な存在である。福音書に書いてある通り、聞く耳のある人のみが、み言葉という種を畑に根付
かせることが出来るのだ。あらゆる植物や動物の種(こう表現しよう)類は繁殖のためには途轍もない数
の種を四方八方に撒き散らす。風に乗せて、重力に任せて等の様々な方法で命の可能性である種を委ね
ていくのだ。その結果、数少ない種だけが次の命の営みに辿り着ける。他の種は？そうだ。全部無駄なのだ。
しかし、実りに失敗した種らは本当に無駄なのかと疑問に思う。いや、真逆だ。命の営みは、そもそも、
無駄さにその神髄があるのだ。数学的に表現すると確率の領域なのだ。0.0000と続く確率でも良い、その
極めて低い確率でも狙えるのであれば、命は諦めないのだ。負けないのだ。

かみさま めぐ おな ちきゅう だれ いただ めぐ かえ できう とてつ
神様のお恵みも同じではないか。地球の誰が、頂いたお恵みにぴったりのお返しが出来得るのか？途轍も
なく大きい、どでかい、神様のお恵みに！それは実に浪費とも取れ得るし、無駄とも受け止め得る。

かみさま あきら じつ ひく かくりつ わたし にんげん かみさま
しかし、神様は諦めない。実に低い確率ではあるが、私たち人間を、神様と
いう命の源に呼び戻すのを諦めはされない。頑固の塊である私たち人間
という畑に、途轍もなく数多くのお恵みを撒き散らしておられるのだ。

い かえ おれ う と きおく
言い返されるかもしれない。俺は受け取った記憶ないで！と。
ほんとう
本当にそうかな。

